

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版54号



平成 25 年 12 月 17 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

## ～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ4度出場)。

## ●県議会一般質問。300人傍聴者来る。

平成 25 年第 4 回定例県議会にて、一般質問を行いました。お忙しい時期にも関わらず、地元土浦を中心に県内各地から傍聴席が満席となる約 300 人の皆さまが県議会へ駆けつけてくれました。

質問については、霞ヶ浦・筑波山周辺地域の振興策、水道の断水防止対策、桜川における田土部堰の改修、乙戸川の河川改修、県道小野土浦線の整備、水郷体育館の改修、筑波山周辺のイノシシ対策といった地元の課題さらには、予防に重点をおいた健康寿命を延ばす取り組み、犬猫の殺処分減少への取り組みについて行いました。

①霞ヶ浦・筑波山といった茨城が誇る観光資源を活かし、周辺地域の振興を図るため、どのような取り組みをしていくのかという質問に対して、知事は、市町村や民間事業者などと広域的に連携し、霞ヶ浦湖沼水質保全計画に基づき、霞ヶ浦のより一層の水質浄化に取り組むほか、自転車愛好家向けサービスの充実や、清潔で使いやすいトイレを整備するほか、地域の農水産物であるレンコンなどの販路開拓などを通じ、消費拡大に努めていくとのことでありました。

②水道の断水防止対策について、東日本大震災の際、新治浄水場自体にほとんど被害はなかったが、水源である水資源機構が所有する霞ヶ浦用水事業の用水管が被災し、その復旧に時間を要したため、旧新治地区への送水が数日遅れてしまった。現在、霞ヶ浦浄水場と新治浄水場の緊急連絡管を整備し、災害などの緊急時に水を相互融通できるように検討を進めているとのこと。

③桜川における田土部堰の改修については、地元新治土地改良区等と協議調整のうえ、管理橋の改修も含め、堰の改修の長寿命化対策の実施について検討していくとのこと。

④乙戸川上流部の河川改修については、地域の浸水被害を早期に軽減するため、下流への影響を考慮した暫定改修により、整備を進めていく。今年度は引き続き用地取得を進めるとともに、乙戸小付近において工事を実施する予定であります。

⑤県道小野土浦線の整備については、大畑地区の道路改良と歩道整備、下坂田地区の土浦市が進めている市道の整備と調整しながら、国道 125 号から南側の約 1.6 km 区間のバイパス整備を進めていく。

⑥水郷体育館の改修については、体育館の機械設備やその他公園施設の改修工事などに順次取り組んでいく。地域防災計画にも位置付けられていることから来年度は自家発電装置の整備を予定している。

⑦筑波山周辺のイノシシ対策については、被害区域は拡大していることから、来年度からの第 5 期計画では、被害対策の強化、生息区域の縮小などについて検討をしている。猟友会の皆様の協力を得て、狩猟免許取得初心者を対象とした狩猟技能伝達講習会の開催や、わな限定の狩猟期間の創設や、新たに生息が確認された区域など一定の区域を定めて集中的に捕獲することなどについても検討していくとのこと。

これらのことが一步一步着実に実現できるよう取り組んでいきます。また、毎月の議会報告かわら版も FAX などでお手元へ送りますので、ご希望の方は事務所までご連絡いただければ幸いです。